

Title	臨床哲学のメチエ 第7号 表紙・目次
Author(s)	
Citation	臨床哲学のメチエ. 7
Issue Date	2000
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/21785
DOI	
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

臨床哲学のメチエ

臨床の知のネットワークのために

Vol.7 2000秋冬合併号

特集1 ソクラティック・ダイアローグ in ヨーロッパ

- | | | |
|------------------|------|----|
| ソクラティック・ダイアローグ | 森芳周訳 | 4 |
| 「拝啓、ソクラテス者のみなさま」 | 寺田俊郎 | 20 |

特集2 ソクラティック・ダイアローグの「臨床哲学的展開」

- | | | |
|----------------------------------|------|----|
| 共同的思考の産物と効果——神戸市看護大学でのワークショップから | 堀江 剛 | 24 |
| 「責任とは、他人の突然の出現である。」——あるダイアローグの記録 | | 31 |
| 「言葉」を行うこと | 大北全俊 | 52 |
| 《資料》ダイアローグを営むためのいくつかの決めごと | | 54 |
| 街角の哲学——臨床哲学カフェ&バー報告 | 桑原英之 | 56 |
| 臨床哲学の余白 | | 58 |

総特集 ソクラテック・ダイアローグ



99年、私たち臨床哲学研究室のメンバーは、イギリスで開かれた「ソクラテック・ダイアローグ」のワークショップに初めて参加し、その面白さを身をもって味わうとともに、それをヨーロッパの様々な場所・機会で精力的に展開している人たちに大いに触発された。2000年夏にドイツで開催された第3回ソクラテック・ダイアローグ国際学会では、このグループ討議の方法を組織的に実施・探求している団体を中心に、ソクラテック・ダイアローグに関わる様々な人々と知り合い、多くの情報を入手することができた。

今回のメチエはページを大幅に増やし、このソクラテック・ダイアローグに関する情報をまとめて紹介する。

特集1では、ヨーロッパにおけるソクラテック・ダイアローグの活動に関する資料や報告を行う。特集2では、私たち臨床哲学研究室が試みているソクラテック・ダイアローグの模様を紹介するとともに、それに対する若干の考察を加えることにする。